事例No.	849
公表年度	R1
団体の属性	都道府県
団体名	熊本県

事例区分	公共施設管理

タグ	・消防・防災 ・公共施設活用 ・公共施設等総合管理計画

事例種類	緊急自然災害防止対策事業

事例内容・タイトル

白川・緑川圏域河川整備事業

出典

自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き

緊急自然災害防止対策事業 ①

熊本県（人口174.8万人）「白川・緑川圏域河川整備事業」

事業の概要

・護岸、排水機場、水門の再整備

・H31年４月着手、Ｒ３年３月完成予定

整備の必要性・効果

・白川・緑川圏域においては、護岸について老朽化等により亀裂や洗掘等の損傷が生じており、また、排水機場や水門についてゲートの水密ゴムの欠損・劣化等による発錆が生じているため、洪水時に適切な機能を十分に発揮できない可能性がある。

・今後の大雨や洪水等による河川の氾濫、家屋の浸水被害を防止するため、緊急に護岸、排水機場、水門の機能向上を図るための再整備を行うものである。

整備の概要

総事業費　：306.1百万円

うち緊自債：306.0百万円

河川の長さ：1,960m　護岸の高さ：5.0m

その他：排水機場の性能（ポンプ：２台、排水能力：5.0㎥/秒）

護岸整備：施工前



護岸整備：施工後



※写真は過去の類似事業におけるもの。